

## 建築物環境計画書作成マニュアルについて

建築物の環境配慮制度に関するマニュアルは、現在、次に示すとおり CASBEE 評価制度について解説するマニュアル群から構成されている。

1. CASBEE 大阪みらい 共通マニュアル
2. CASBEE 大阪みらい 新築・既存・改修 各評価マニュアル

今回、従来の CASBEE 評価制度に加え、省エネ基準適合義務や再生可能エネルギー利用設備導入検討義務に関する制度が導入されることに伴い、建築物の環境配慮制度全般について解説するマニュアルの作成を行う。同マニュアルの名称は「建築物環境計画書作成マニュアル」とし、次のマニュアル群によって構成する。

- 1'. 建築物環境計画書作成マニュアル 基本編（1. を改訂し作成）
- 2'. 建築物環境計画書作成マニュアル CASBEE 大阪みらい編（新築・既存・改修）  
（2. を改訂し作成）
3. 建築物環境計画書作成マニュアル 再生可能エネルギー利用設備導入検討編（新規作成）

これらのうち、1'. 建築物環境計画書作成マニュアル 基本編と 2'. 建築物環境計画書作成マニュアル CASBEE 大阪みらい編については、既存のマニュアルに、省エネ基準適合義務に係る必要書類リストの項目追加や、国の制度変更を受けた CASBEE 評価ツールの更新に伴う改訂を施すなどして作成する。また、3. 建築物環境計画書作成マニュアル 再生可能エネルギー利用設備導入検討編（以下「再エネ検討マニュアル」）については、新規に作成することとし、本市の特性を考慮するために次の事項について検討する必要がある。

- ・太陽光・太陽熱以外の再エネの取扱い
- ・具体的事例の紹介

検討の材料として、再エネ検討マニュアルの構成案をまとめた。

また、あわせてラベルのデザイン案及び省エネ基準適合状況のホームページでの公表イメージ案についてもまとめた。

(1) 再エネ検討マニュアルの構成（案）について

別紙 1 のとおり。

（参考：別紙 2 - 1 ~ 4 大阪府マニュアル等）

(2) その他

1) ラベルのデザイン (案) について



再生可能エネルギー利用設備（太陽光・太陽熱・その他）導入の有無について追記する。

「省エネ基準適合(延べ1万㎡以上)」の文言を追加する。

2) 省エネ基準適合状況のホームページでの公表イメージ (案) について  
別紙3のとおり。

## 再エネ検討マニュアルの構成（案）

表紙

目次

前文

※制度の趣旨・目的等を記述

本文（項目は以下のとおり）

## 1. 再生可能エネルギー利用設備の導入検討制度について

## （1）制度の概要

※根拠条例・制度の対象等について解説

※導入検討すべき再生可能エネルギー利用設備の種類と検討シート提出について

導入検討すべき再生可能エネルギー利用設備の種類	検討シート提出
○太陽光発電設備 ○太陽熱利用設備	必須
○風力発電 ○水力発電 ○地熱利用設備 ○バイオマス利用設備 ○地中熱利用 ○温度差熱利用（地下水、河川水、海水等） など	省略可 (導入が困難な場合)

## （2）導入検討及び届出の流れ

※手続きのフロー図

## （3）提出書類一覧表

## （4）様式集

※「建築物環境計画書」及び「再生可能エネルギー利用設備導入検討シート」  
検討シートについては大阪府マニュアルを参考とする。

## 2. 太陽光発電システム

## （1）導入検討の手順

※検討手順のフロー図

・周辺環境の把握→日照条件の検討→日照条件に適合する場所の検討→導入判断

## （2）導入検討の具体的手法

※検討方法の詳細説明

・周辺環境の把握

計画建築物の配置・近隣の建築物の配置

・日照条件の検討

検討対象とする場所・建築物の周囲における日射遮蔽物の有無・日照の確保

・日照条件に適合する場所の検討

設置可能面積の算出・太陽光パネル面積の算出・設置可能容量の算出・  
構造上の安全性の検討・将来の設置に備えた対応策

・導入判断

導入の可否・導入を見送る場合はその理由

(3) 【資料編】システムの概要

3. 太陽熱利用システム

(1) 導入検討の手順

(2) 導入検討の具体的手法

(3) 【資料編】システムの概要

4. その他の再生可能エネルギー利用システム

(1) バイオマス利用システム

・導入検討の手順

・導入検討の具体的手法

(2) その他の再生可能エネルギー利用システム

・導入検討の手順

(3) 【資料編】その他の再生可能エネルギー利用システムの概要

・事例集

・事例を基にした記入例